

## 2-1:オシロスコープ（1日目）

**目的：**オシロスコープ等の操作に慣れるとともに、トランジスタの実験への準備

**電源の配線：**グループ間の干渉を減らすために、コンセントリールはグループ毎に別のものを使う。テーブルタップを用いて分岐するように。

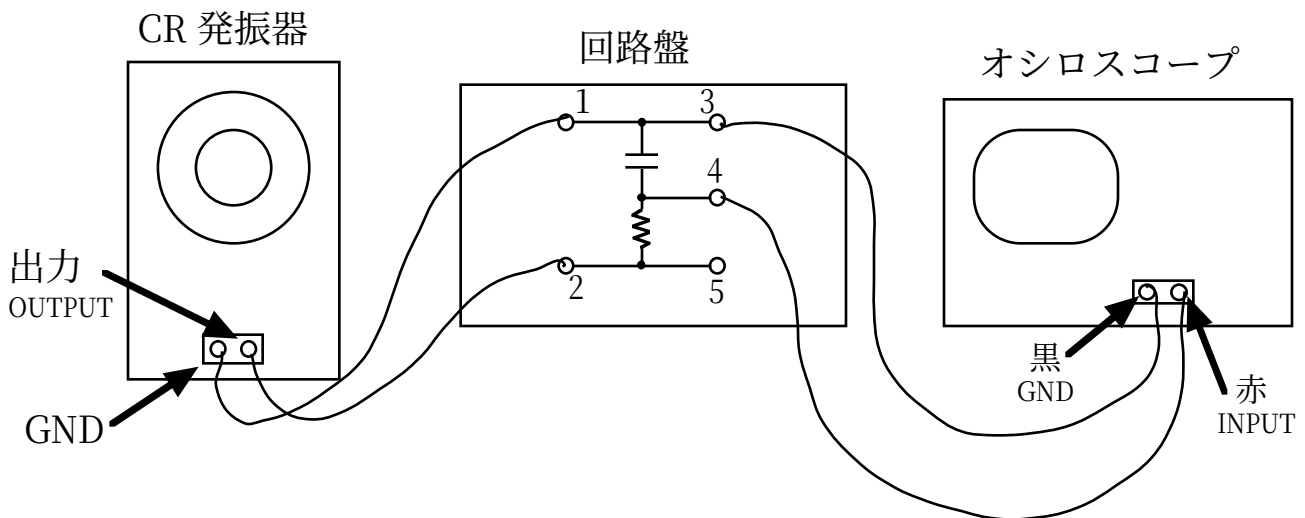
**オシロスコープ：**CALIBRATORへの接続はミノムシクリップを用いる。

輝線は細いほど読み取り精度が高くなるが、暗くなり過ぎないように調整する。最小目盛の1/10程度は目分量で読み取る。

読み取り易いように垂直軸感度(VOLTS/DIV)や掃引時間(TIME/DIV)を適当に切り換えて良い。

垂直軸感度微調整(V-VARIABLE)のつまみはCAL.の位置にして使用すること。

$V_{3-4}$ の測定時にノイズが出る場合は信号線とGND線を入れ替えてみる。  
下図参照（P36 【注意】）



**CR 発振器：**出力端子とGND が間違いやすいので注意。周波数の計算に気をつけること。（目盛×周波数レンジ(FREQ. RANGE)）

**回路盤：**ノイズが増え、測定が困難になるので、コンセントに接続しないように。

**配線：**GND 線の配線は黒、INPUT やOUTPUT などの信号線は赤色で配線すると間違いにくくて良い。

**注意：**手順をだんだん省略して書いてあるので、今、何をしているのかを考えながら実験すること。実験ノートの使用の有無、および、片付けの状態もチェックしている。後始末をきちんとするように。